

全国 YMCA ユースチャレンジプログラム 2019 報告書 「ユニバーサルフェスタ in 宇都宮 2019」

ユニバーサルフェスタ実行委員会（とちぎ YMCA）

1. プロジェクト概要と実施内容

地域の国際化や、在留外国人労働者の拡大が大きく取りざたされる今、宇都宮市も、総人口の1.8%に当たる約9,530人が海外出身者です。「50人に約一人」と聞くと、「多い!」と感じる人がほとんどで、街やお店で海外出身の方を見かけることはあっても、あまり身近には感じていない人がほとんどでした。せっかく同じ宇都宮に住んでいるのにあまり交わることもなく、彼らとの「ちがい」や「同じ」について知る機会もないことに気づきました。そこで、国際交流などに興味のあるボランティアが集まり、宇都宮市が「国籍や言葉や文化の違いがあっても、だれでもいきいきと暮らせる、住みやすいまち『ユニバーサルシティ』になるようにしたい!と、第一歩として、『ユニバーサルフェスティバル』を開催することになりました。

国際交流に興味のある高校生から社会人までが集まり、イベントの目的やテーマなどを全体で決めました。準備は、イスラム教の方を講師に招き、イスラム教の食文化への理解を深めたり、『やさしい日本語』と多言語を看板やパンフレットに使うことなどを意識したりしながら進んでいきました。

イベント費用の協賛金集めやクラウドファンディング、出店してくださるお店探し、ステージの企画・運営、イベント中のアクティビティ企画、ハラルフードの提供など各グループに分かれて何か月も準備を行いました。



そして、11月10日当日は、たくさんの方々がイベントに足を運んでくださいました。子どもたちがいろいろな国の言語であいさつをしながらスタンプラリーに挑戦したり、イスラム教徒の方がハラフードを食べに来てくださったり、ステージのブースから「私たちは年齢も国籍もばらばら人たちが集まった一つのグループです！」という自己紹介が聞こえたり、私たちが思い描いていた『ユニバーサルフェスタ』となりました。



このイベントを通して、海外にルーツを持つ方々とつながることができました。今回は、実行委員にそういった方に入っていたことはできませんでしたが、次回は、今回のイベントでつながった方々など、より多くの方の賛同を得てイベントが開催できることを期待しています。

2. このプロジェクトを通じて考えたこと

今回、このような国際交流イベントに携わらせていただき、食事や音楽などをはじめとする異国の文化や伝統を、イベントの参加者・関係者と体感することができ、非常に嬉しく思います。イベントを振り返ると、内容が充実しており満足度の高いものになったと考えると同時に、改めて国際交流の素晴らしさについて気づかされました。もちろん、日本の文化や伝統は、魅力的で世界に誇れるものがたくさんあります。しかし、諸外国の文化を取り入れることで日本にはない海外の良さに気づいたり、新たな視点で日本の良さを発見したりすることができます。知らないことを知って視野を広げ、グローバルに物事を捉えることので

きる人が増えれば、国際化が著しく進む現代はより一層進歩し、様々なバックグラウンドを持つ人たちが互いに認め合うことのできる社会が実現できると考えます。

3. 今後、ユースチャレンジを希望する人へのアドバイス

目的やテーマを具合的に決めてから、実行することが大切だと思います。私たちはイベントをやろうと決めた際、まず始めに何のためにやりたいのか、そのためにはどこで、何をすればよいのかなどを何度も話し合いました。何も決まっていない状態からのスタートでしたが、それぞれがやりたいことや自分ができるとなどを意見を出し合いました。その結果、初めて開催したイベントにも関わらず、私たちの目的に共感した多くの方々に出店や協賛、ボランティアなど様々な面で協力していただきました。また、私たち実行委員も、高校生から社会人まで幅広く集まったので初めて会う人がほとんどでしたが、皆で同じ目的をもってそれぞれができる最大限のことを積極的に実行して準備を進めていくことができました。そして、当日には一丸となってイベントを盛り上げることができました。このように、まず目的を決めてから準備を進めることで、意義のある活動につながると思います。